

✧ 乳房

◆ 乳房超音波検査

乳房に超音波を当てて映像化します。乳房の表面を小さい機械でなぞっていくので、痛みは感じにくい検査です。マンモグラフィに比べて、若年者に多い高濃度乳腺（脂肪が少なく乳腺組織が密）の腫瘍も比較的に見つけやすいと言われています。被爆することが無いので授乳中や妊娠中の方を含め、全世代の方で検査が可能です。

◆ マンモグラフィ

乳房を片方ずつ押し挟むように平らにして、上下と左右の側面の2方向から撮影します。1方向の場合は左右の側面から撮影します。乳房を圧迫するため、多少の痛みを感じる場合もあります。乳房超音波検査に比べて、石灰化を見つけやすいという特徴があります。授乳中や豊胸術をしている方は検査が行えません。

局所的非対称陰影	マンモグラフィの写真において、正常な場合は左右の乳房はほぼ対照的に写ります。しかし、何らかの異常がある場合、左右が非対称に写ることがあり、その状態のことをいいます。乳腺が年齢とともに減っていく段階で、一部の乳腺が残ることがあり、これが局所的非対称性陰影となることがあります。そのため良悪性を調べるためには精密検査を行う必要があります。
乳房異常陰影	石灰化や非対称性陰影等所見とは判別しづらい、正常ではない所見の事を示します。速やかに受診し、精密検査を受けることをおすすめします。
乳腺嚢胞	水溶液の入った袋状の腫瘍で良性のものです。1 cm以下の大きさでは触診では触れにくいですが、2 cm以上の大きさであればご自身でも腫瘍として触知できることもあります。しばしば多発して乳房両側にみられます。

充実性病変 混合性病変	乳房にできるしこり状のものです。エコー検査の特性を生かし、腫瘍の性状から良悪性の可能性を判断します。良性の可能性が強く健診で経過を診ていくものもありますが、中には悪性の可能性を疑い病院での精密検査が必要になる場合もあります。
低エコー域	周囲の乳腺と比べ、黒く映る部分で、周囲との境目ははっきりしません。多くは乳腺症の一種のことが多く経過観察になりますが、中には悪性を疑う場合もあり、病院での精密検査が必要になる場合もあります。
構築の乱れ	乳腺内の一点または限局した範囲に集中するひきつれ・ゆがみのことです。悪性病変だけでなく良性病変でもみられることがあります。
乳腺線維腺腫	若年の女性に多い、良性のしこりです。多くの場合は治療の必要はありませんが判定・指示を確認してください。

【主な所見】

石灰化	乳腺にあるカルシウムの沈着物のことです。乳がんのサインとして見つかるものと、皮膚や血管などが古くなってできた良性のものがあります。マンモグラフィでは、しこりを形成しない段階の非常に早期の乳がんを、石灰化から見つけることができます。
------------	--